

講義科目名称： 母性看護学実習

授業コード： 2230200400

英文科目名称： Clinical Practice in Maternity Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3学年	2単位	必修
担当教員			
◎八巻ちひろ、上田恵、伊藤美由紀、五十畑麻奈美、黒崎美月			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 通年</p> <p>【授業時間】 60時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 ◎八巻 ちひろ 上田 恵 五十畑 麻奈美 黒崎 美月</p> <p>【研究室】 研究室309 共同研究室6 共同研究室2 共同研究室6</p> <p>実務経験のある教員が担当します</p> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ○ ◎ ○ ○</p>
------	---

到達目標	1. 妊婦の特性と健康問題に応じた看護実践について理解できる 2. 産婦の特性と健康問題に応じた看護実践について理解できる 3. 褥婦および新生児の特性を理解し、ウェルネスの視点をふまえた看護過程を展開できる 4. 地域における母子支援活動の役割や方法について理解できる 5. 母性看護の対象である女性・児・家族を全人的に受け止め、相互作用を通して自ら看護観を育むことができる
授業概要	妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期にある対象の特徴を理解するとともに、正常な経過をたどる母児を受け持ち、ウェルネスの視点をふまえた看護過程の展開を行う。 地域における母子支援活動の実際を学び、地域での母子や家族への支援の役割や方法を理解できるよう子どもセンターでの実習を設定した。
授業計画	<p>授業内容</p> <p>授業形態：臨地実習 一部学内実習</p> <p>学習課題：妊娠期・分娩期・産褥期（新生児を含む）をプロセスとして理解し、各期の対象の特性をふまえた看護ができる。</p> <p>学習内容：</p> <p>産科外来 妊婦健康診査に来院した妊婦を受け持ち、情報収集・アセスメント・ケア実施または見学を行う。</p> <p>産科病棟 1組の母子を受け持ち、看護過程を展開する。</p> <p>子育て施設 子どもセンターでの母子支援活動の見学を通して、支援の方法や退院後の母子の様子を把握する。</p> <p>〈実習場所〉新潟県立中央病院、JA新潟厚生連上越総合病院、オーレンブラザ子どもセンター、市民プラザ子どもセンター</p> <p>備考：詳細は「母性看護学実習要項」を参照。</p>
事前・事後学習	事前学習：母性看護学Ⅱ、母性看護学演習の学習内容を復習、整理しておく。 事後学習：看護の実践場面や教員および臨床指導者からの指導内容を振り返り、実習記録をまとめる。
評価方法、評価基準	母性看護学実習要項に記載している実習目標に実習態度に関する項目を加えた実習評価表で評価する。実習評価表は実習要項に提示している。実習評価表は100点満点に設定しており、学生と教員が同項目で評価する（教員評価が評価点となる）。
必携図書	母性看護学関連授業で使用した図書および資料等
参考図書・資料等	参考図書については随時紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール	実習初日にオリエンテーションを行う。各自、実習要項を熟読しておくこと。 免疫力の低い新生児と接する実習であるため、より一層体調管理には気を付けること。 実習記録には個人情報が入っていることを認識し、記録物の管理を徹底すること。
教員からのメッセージ	母性看護学実習での学びは、将来自分自身のためにも役立つものです。 新しい生命を育む看護を通して、生命を愛しむ気持ちや自分自身の母性観・父性観を育んでください。
オフィスアワー	